

2002年11月6日

「@Managehome® Version2」の提供を開始

セキュリティ管理など新機能を加え、サービスメニューを充実・強化

(株)日立情報システムズ(社長:高須昭輔、本社:東京都渋谷区)は、ワンストップ MSP サービス「@Managehome®」の次期バージョンとして、セキュリティ管理を中心にサービスメニューを充実・強化した「@Managehome® Version2(アットマネージホーム バージョンツー、以下『@Managehome® V2』)」を、11月7日から提供を開始いたします。

当社では、アウトソーシングベンダとして長年培ってきた運用経験をもとに、マルチベンダ・マルチプラットフォーム環境の稼働監視、アプリケーションレベルの稼働管理や障害復旧、ネットワークセキュリティ監視など、お客様システムをきめ細かにサポートするワンストップ MSP サービス「@Managehome®」を提供し、現在 120 社を超えるお客様にご利用頂いております。

また、MSP を「Managed Service Provider」(注1)と定義し、データセンタを活用して業務運用、保守、ヘルプデスクまで一貫してサポートし、お客様のニーズに柔軟に対応しております。

今回提供を開始する「@Managehome® V2」では、主に以下の3点を中心に、サービスメニューの充実・強化を図りました。

【セキュリティ管理】

企業や電子自治体のシステムで重要となっている「外部の脅威からだけでなく、内部の運用時の危険性からも保護する強固なセキュリティ」の確保などを実現しました。リーズナブルなコストで、先進技術によるセキュリティ管理サービスを提供します。

【システムの安定稼働】

専門分野に特化した各種稼働状況の詳細分析により、ボトルネックやトラブルの発生を未然に防止するプロアクティブ管理を実現しました。また、強固なデータセンタを活用したストレージサービスなども提供します。

【TCOの最適化】

IT資産のライフサイクル管理、ライセンス管理サービスなどを新たに提供し、運用コストの最適化を支援します。

当社では、今後もお客様のニーズに基づく新たなサービスを提供し、先進のソリューションで、大規模化・広域化・高度化する情報システムのサービス品質向上の実現を図ってまいります。

(注1)「米国 MSP アソシエーション」では、MSP を「Management Service Provider」と定義し、サービス料金制でネットワークを介し複数のお客様に IT インフラの運用管理サービスを提供する事業者としています。当社では MSP を、運用管理に留まらずお客様システムのマネジメント全般をサポートするサービスとして提供しているため、「Managed Service Provider」と称するものです。

1. 「@Managehome® V2」のサービス体系

「@Managehome® V2」では、「安心できるセキュリティ対策」を実現するセキュリティ管理サービス、「システムの安定稼働」を実現する稼働管理サービス/障害管理サービス、「TCOの最適化」を実現する資産管理サービス/ユーザ管理サービス/運用サービスとしてサービスメニューを新たに体系化し、必要なサービスのみを選択するポイント・ソリューションからトータル・ソリューションの提供まで、お客様のニーズに合った柔軟な形態でサービスを提供します。

	稼働管理サービス	障害管理支援サービス	セキュリティ管理サービス	資産管理サービス	ユーザ管理サービス
MSP Basic	<ul style="list-style-type: none"> サーバ/ネットワーク稼働監視 ミドルウェア稼働監視 Webサービス稼働監視 メールサービス稼働監視 	<ul style="list-style-type: none"> 障害回復支援 	<ul style="list-style-type: none"> ファイアウォール監視 サーバセキュリティ監視 ネットワークセキュリティ監視 	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア構成管理 ソフトウェア構成管理 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ管理 課金管理
MSP Advanced	<ul style="list-style-type: none"> 業務アプリケーション導入ユーザ向けMSPサービス ・MSP for SAP R/3 ・MSP for e-ADWORLD ・MSP for CYDEEN ネットワーク品質監視・分析サービス「NEQST」 Oracle管理サービス「Database Guard for Oracle」 	<ul style="list-style-type: none"> 障害原因解析支援サービス「FaultGuard」 ストレージサービス「Storage Guard」 	<ul style="list-style-type: none"> 機密情報保護サービス「PrivacyGuard」 Webアクセス状況分析&アクセス元情報提供サービス「LAIR」 ウイルス対策マネジメントサービス「Virus Guard」 Webアプリケーションセキュリティサービス「AppShield / AppScan」 セキュリティホール診断サービス「InternetScanner」 	<ul style="list-style-type: none"> IT資産管理ソリューション「AssetGuard」 ライセンス管理サービス「License Guard」 	
運用サービス	ヘルプデスクサービス、 保守サービス、 システム改善サービス、 業務運用サービス				

【凡例】



：新サービス商品



：既存ソリューションの@Managehomeへの体系化



：既存サービス商品

2. 「@Managehome® V2」の新サービス体系とサービス内容

1. 「セキュリティ管理サービス」の強化

(1)機密情報保護サービス「Privacy Guard」

アクセス監視・制限、データ保護機能で内部運用時の不正アクセスや操作ミスによる機密データ破壊・流出を防ぎます。

(2)Web アクセス状況分析&アクセス元情報提供サービス「LAIR」

社内におけるインターネット利用を分析し、業務外インターネット使用のアクセス元 PC および利用者の特定をすることができます。

2. 「稼働管理サービス」の強化

(1)業務アプリケーション導入ユーザ向け MSP サービス

システム内で動作する業務アプリケーションまで含め、稼働状況やパフォーマンスを監視し、障害通知、稼働報告を行います。今回、既に提供している「MSP for SAP R/3」に加えて、当社開発パッケージである電子自治体ソリューション「e-ADWORLD」及び建設総合情報システム「CYDEEN」のMSPサービス「MSP for e-ADWORLD」、「MSP for CYDEEN」を提供します。

(2)Oracle 管理サービス「Database Guard for Oracle」

Oracle データベースの稼働状況やパフォーマンスを監視し、障害通知、稼働報告、稼働状況に基づく分析とシステム改善を提案し、高いサービスレベルを実現できます。

3. 「障害回復支援サービス」の強化

(1)障害原因解析支援サービス「Fault Guard」

障害情報を自動収集し、原因分析に必要な情報を抽出、さらに過去の類似事例を検索することで、障害原因解析を支援します。

(2)ストレージサービス「Storage Guard」

日立製作所のSANRISEストレージ割当を提供するほか、バックアップ・媒体保管と障害時のリストアサービスを提供します。

4. 「資産管理サービス」の強化

(1)IT 資産管理ソリューション「Asset Guard」

IT 資産の導入から滅却までのライフサイクル全般に渡る管理業務ソリューションを提供します。

3. 「@Managehome® V2」のホームページ

<http://www.msp.fwd.ne.jp>

4. 「@Managehome® V2」の販売価格・販売開始時期

商品名	概要	標準価格	販売開始時期
セキュリティ管理サービス			
PrivacyGuard	機密情報保護サービス	初期費：17万円～ 運用費：5万円/月～	2002年11月7日
LAIR	Web アクセス状況分析&アクセス元情報提供サービス	初期費：120万円～ 運用費：17万円/月～	2002年11月7日
稼働管理サービス			
MSP for e-ADWORLD	e-ADWORLDの稼働管理	初期費：100万円～ 運用費：5万円/月～	2002年11月7日
MSP for CYDEEN	CYDEENの稼働管理	初期費：個別見積もり 運用費：個別見積もり	2002年11月7日
Database Guard for Oracle	Oracle データベース稼働管理	初期費：60万円～ 運用費：5万円/月～	2002年11月7日
障害回復支援サービス			
Fault Guard	障害原因解析支援サービス	初期費：400万円～ 運用費：個別見積もり 管理対象50台の場合	2002年11月7日
Storage Guard	ストレージサービス	初期費：50万円～ 運用費：35万円/月～	2002年11月7日
資産管理サービス			
AssetGuard	IT資産管理ソリューション	初期費：500万円～ 運用費：20万円/月～ 管理対象50台の場合	2002年11月7日

5. 「@Managehome® V2」の販売目標

今後3年間の累計で、500社、30億円の売上を計画

6. 問い合わせ先

【商品に関する問い合わせ】

商品問い合わせセンター FainDesk (ファインデスク)

TEL 0120-346-401 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00 (土・日・祝日は除く)

FAX 03-3770-5712 e-mail faindesk@hitachijoho.com

【発表に関する問い合わせ】

社長室文書広報グループ 松林 (〒150-8540 東京都渋谷区道玄坂1-16-5)

TEL 03-3464-5073 FAX 03-3496-5684

以上

* 「@Managehome」は、株式会社日立情報システムズの登録商標です。

* 記載された商品名、会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。